

多様な働き方人材とともに耕作放棄を再生

農事組合法人MYTURN（SCOOP FARM） （千葉県夷隅郡大多喜町）

経緯・概要

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、本業であるインバウンド関連事業が減少したことから、2021年にアグリ事業の立ち上げに着手。
- ・「日本の美しい農業とその景観を守りたい」「後継者のいない農家を継続維持させたい」という思いから、MYTURNを2021年10月に設立。



自社農園 Scoop Farm

- ・里山の耕作放棄地を活用した自社農園で、化学肥料や農薬を使わず体にやさしい農産物を生産。都内の有機食材チェーン店などで販売し、有機栽培の農場体験プログラムも実施。
- ・都会での仕事と地方での農業との掛け持ち（デュアルライフ）の実現を目的としたアグリ事業を開始し、人材を積極的に募集。
- ・採用時に、勤務日数や業務時間、業務内容などの働き方を交渉。農場で必要な作業や個々人のスケジュールに応じて就労時間を決定。
- ・多様な働き方の人材を活用し、古民家を利用した農カフェ、ニンジン、芋などの加工・販売など6次産業化を推進。

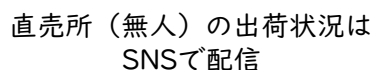
農事組合法人MYTURN

- <所在地> 千葉県夷隅郡大多喜町森宮642
- <代表> 代表 阿部 道広
- <法人設立> 2021年10月
- <売上高> 1億1,400万円（2021年度 グループ全体）
- <社員数> 8名（役員4名（男2、女2）、従業員2名（男2）、パート2名（女2））（2023年1月）※2023年3月より正社員を採用予定。
- <事業概要> 農産品（さつまいも、ジャガイモ、トウモロコシ、トマト、ニンジンなどの露地野菜）の生産・加工、消費者直売、農業体験
- <経営規模> 1.5ha



【時間配分】農作業（１～２割）、ITコンサルティング業務（８～９割）。

- ・ 本業（IT業務）で安定した収入があるため、ライフワークの充実、健康、社会的意義のために農業を行っている。
- ・ 本業を重視した働き方により、リラックスでき、楽しく働いている。
- ・ もともとスマート農業に関心があり、MYTURNが目指しているドローンでの農薬散布、大学との共同研究によるAI画像認識システム活用などの話にも共感。
- ・ 将来的にはMYTURNの生産管理システム導入などにも関わりたい。



多様な働き方人材を採用してみて・・・

多様な働き方人材の中に管理栄養士を本業とするスタッフがおり、6次産業化の中核となる農カフェのメニュー開発の助言のほか、近隣の民泊施設を活用した“断食農場”プログラムなどの開発のアイデアなどが進行するなど、地域ぐるみでの地域経済活性化のきっかけにもなっている。

地方自治体と連携し、 Ｉターン人材を積極的に受け入れ

有限会社三隅町農業支援センターみらい (島根県浜田市)

経緯・概要

- ・地域住民とJAしまね、浜田市が出資し、地域でリタイヤしたシニアの受け皿として、2004年に農業生産法人みらいを設立。2007年に有限会社化。
- ・農薬を一切使用しない「水澄み米（みすみまい）」などの生産の他、農作業受託などを行い地元地域の農地や水源、環境を守っている。
- ・高齢化が進む中山間地のため、設立当初は、60歳以上の従業員のみだったが、収益の観点から、冬場に自分で稼ぐことができる移住者の受け入れを進める。



みらいのある井野地区の産業は稲作中心
棚田の美しい風景が広がる



三浦取締役（中央）、
従業員と浜田市職員

- ・2013年にＩターン人材が入社。Ｉターン人材の意見も取り入れ、社会保障制度等を2018年に充実させる。
- ・自社HPがないため、浜田市農林業支援センターの協力を得て、Ｉターンの人材募集を行っており、職場環境整備や移住に関する手続き等も連携。

有限会社三隅町農業支援センターみらい

- <所在地> 島根県浜田市三隅町井野へ1816-2
- <代表> 代表取締役 川本 聖光、取締役 三浦 崇夫
- <法人設立> 2004年 設立、2007年 法人化
- <売上高> 4,400万円（2021年度）
- <社員数> 10名（役員1名(男)、管理職1名(男)、一般職3名(男2、女1)、常勤パート5名(男5)）（2022年）
- <事業概要> 農産物の生産、JAの育苗センターとライスセンターの運営や地域の農作業受託。約8割が水稻で、他に大豆や蕎麦、栳（こうぞ）などを栽培。
- <経営規模> 田16ha、畑4.7ha

多様な働き方の人材の声



Y 氏

【略 歴】三重県の農業高校で有機農法を学び、有機農産物販売会社で8年間勤務後、バックパックで海外を旅する。2013年に小学校の頃からの夢である就農のため島根県に移住。林業、害獣駆除も行う。30代。

【時間配分】農業（6割5分）、林業・害獣駆除等（3割5分）



H 氏

【略 歴】27歳からバックパックで海外を旅する。帰国後、静岡の茶農家などに勤務したのち、島根県に移住。林業にも従事し、芸術分野で生計を立てる道を模索中。30代。

【時間配分】農業（9割5分）、林業の手伝いや個人の農業（5分）

【働いてみた感想】

- ・縁もゆかりも無い過疎地域に飛び込んだが、地域に根差した会社に入社することで、地域に溶け込むのが早かった。職場、地域の方とも良好な関係が築けている。暮らしやすい地域、働きやすい職場で大変満足している。
- ・会社は、働きやすい職場にしようと、意見を聞いてくれる。困りごと、心配ごとは、経営側と従業員側のコミュニケーションを通して解決する文化が醸成されている。

< 契 約 の 種 類 >	常勤パート契約（期限付き契約）
< 待 遇 >	時給制。社会保障完備（雇用保険、健康保険、年金保険、労災保険）有給休暇・残業制度あり
< 作業日数、時間 >	就業時間8:00～17:00。時間調整可能だが、基本的に繁忙期（3～11月）は、みらいでの作業を優先。
< 作 業 内 容 >	一連の農作業

多様な働き方人材を採用してみて・・・

- ・Iターンの2名は、地元で育った人間では思いもよらない新たな視点で、業務改善に向けて様々な提案してくれる。これが一番のメリットである。

例えば、受託業務（育苗センターとライスセンター）の人員シフトの改善提案により、生産性向上に貢献してくれた。また、活気が生まれ、職場環境が良くなった。期待以上の成果を挙げている。

- ・外部からの移住者と農業経営体がWin-Winの関係性を構築するためには、単なる働く場の提供だけではなく、処遇や風通しの良さなどの組織文化、コミュニケーションをよくとることが大切。

- ・山間部の小さな圃場が分散して農地の集約化は難しく、後継者候補も少ない地域だが、今後、5年計画で2～3haの拡大を考えており、様々な魅力がある多様な働き方の人材も活用していきたい。



三浦取締役



生活の質の高める職場環境

みらいは、社員にとって、ただの働く場だけではなく、生活の質（QOL：Quality of Life）の高い生き方を実践する場であることを重視している。QOLの高め方は、本人が何を大切にするかにもよるが、会社としては、稲作に集中できる環境づくりはもちろん、雰囲気の良い職場づくり、コミュニケーションの活性化等、地域の方々や支援センターとともに一緒に取り組んでいる。

専門人材のリモート雇用により 農業経営に悩む「孤独」から解放

農事組合法人YONESATA (山口県岩国市)

経緯・概要

- ・2015年7月に設立。現在、トマト中心のハウス栽培、ネットでの直販や農業未経験者に対する農業体験、新規就農希望者に対して就農支援などを行う。また、大学生のインターンの受入れも行っている。
- ・農業文化のない地域では、働き手の確保が非常に難しく、遊びながらの就農希望者でも来てほしかったため、農業に興味はあるが実態を知らない人にも農業を体験してもらおうと、「農業・酪農求人サイト」を活用して農業体験の希望者を募る。
- ・様々な動機を持つ応募してくる体験者の中から、農業に従事したいという希望者をパートとして採用したことが多様な働き方人材の採用の始まり。
- ・多様なライフスタイルを尊重し、空いている時間に楽しく農作業に従事する新しい雇用のスタイルを実現。
- ・農業体験を経て就農する人のうち、半数以上が早い段階であきらめてしまい、独立までたどり着けるのはごく少数であるが、ライフスタイルを尊重して雇用しているパート従業員は平均4、5年くらい継続して働いている。



YONESATAの従業員の皆さん

農事組合法人YONESATA

- <所在地> 山口県岩国市由宇町北 天神原2633-3
- <代表> 代表 佐多 正晃
- <法人設立> 2015年7月
- <売上高> 2,000万円(2022年)
- <社員数> 15名(男2名、女13名(うちパート10名)) (2022年)
- <事業概要> 施設野菜(トマト、きゅうり、いちごなど)の生産、販売、オンラインを中心に消費者に直販、新規就農支援事業、農業体験
- <経営規模> 施設(ビニールハウス)40a
- <農業体験> I・Uターンを検討している農業未経験者向けに農業体験を、年に2、3回程度実施している。参加費は1名2,000円/日で、定植作業などの体験を行う。受け入れ期間は、1日~6週間。農業経験者が、農作業や農業経営のことだけでなく、田舎で暮らすことなど、色々な話をし、就農するかを迷っている体験者のサポートをしている。

多様な働き方の人材の声



S 氏

【略 歴】地元在住の祖母や両親がトマトを購入していた。山口市内の寺で働きながらも、農業への思いが強く募り、2020年6月にYONESATAで就業。20代。

【時間配分】農業（2割：YONESATAの勤務は1日／週。）、寺院の業務（8割）。

【働いてみた感想】

- ・寺の仕事と農業を両立できるような場所がほとんどない中、出勤日数や働く時間など柔軟に対応してくれるため、非常に助かっている。
- ・初めは、「思っていたより農作業は肉体的にもキツイ」と感じたが、徐々に慣れ、もっと農業に関わりたいと思うようになり、1日の労働時間を長くしてもらった。
- ・年齢の近い女性が多い職場であるため、非常に打ち解けやすかった。とても働きやすい職場なので、今後も両立していきたい。



主力商品「ぜいたくトマト」

< 契 約 の 種 類 >	パート契約（雇用期限の定めなし）
< 待 遇 >	時給制。作業時の労災を除き、社会保障の負担はない（本業側が負担）。
< 作業日数、時間 >	就業時間8:00～16:00。都合の良い時間に農作業を行う。
< 作 業 内 容 >	一連の農作業

多様な働き方人材を採用してみて・・・



佐多代表

- ・課題であった人材確保の難しさについては、農業体験の実施や体験者の口コミを通して、プライベートを尊重する働き方を導入したおかげで解消。今では人材確保は容易になった。
- ・農作業はチームで行うため、チームの輪に入れるかどうかが重要になる。一般的に農業従事者は寡黙な人が多いが、農業を楽しめる素直でコミュニケーション能力の高い人材の雇用を心がけている。
- ・応募してくる人材のほとんどは就農経験の無い人ばかりだが、仕事については、教えたとおり、周りの従業員と同じ思いで前に進んでくれるので、リーダーの指示のもと、一定期間作業を行うとスキルがめきめきと上がる。即戦力になるこだわりの強い経験者よりも一緒に働きやすい。
- ・当初プライベートを優先する働き方を導入すると、シフト調整が大変だと考えていた。特に金曜日は出荷が集中するので、人のやり繰りを心配していたが、皆が金曜日にはプライベートの時間は入れずに空けておくという雰囲気になっている。また、良好な人間関係ができ、業務の改善や仕事のやり方についても、パート従業員から自発的に声があがるようになった。